

# ごみ減量&資源循環のための 指針・事例集【概要版】

本冊では、基本的な対策  
や他業種の事例も紹介！



## 小売業 編



事業ごみの減量と資源循環を進めるため、ぜひ実践いただきたい内容をまとめています。  
コスト削減や収益率アップ、事業者のイメージ向上などにもつながりますので、  
より良い事業活動にお役立てください。

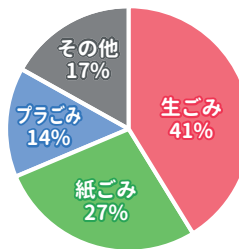
小売店、とりわけ食料品や日用品を扱う店舗は、市民の暮らしを支える大切な存在です。その一方で、商品や容器包装は最終的に家庭でごみとなるため、小売店は家庭ごみにも深く関わっています。そのため、家庭でのごみ減量のパートナーとして、また、市民の身近な資源循環の拠点としての役割も期待されています。

### POINT!

生ごみが最も多く、「てまえどり」などの取組が重要です。

#### 小売業のごみの内訳\*

※業者収集ごみ（令和6年度）の調査結果



生ごみ、紙ごみが全体の7割。食料品を扱わない事業者では生ごみは少なく、紙ごみ中心となります。

## 1 食品ロス対策

### CHECK POINT!

- 1.売場での「てまえどり」\*1を呼び掛ける表示
- 2.賞味/消費期限間近の食料品の値引き販売
- 3.ニーズに合わせた量での販売（量り売り・ばら売り・小分け商品など）
- 4.デジタル技術を活用した需要予測による発注の最適化◎

○ 一歩進んだ取組 ◎ 先進的な取組

- 5.売れ残り商品のアプリなどを通じた販売\*2◎
- 6.売れ残り食料品や端材等を活用した商品（総菜など）の提供\*2○
- 7.売れ残り食料品のフードバンクへの寄付や従業員への提供\*2○

\*1 てまえどり：商品棚の手前から取ること

\*2 衛生管理上の支障がない場合に限る

### 👍 AI×お客様との協働で食品廃棄率0.4%を実現

● ライフ 宝ヶ池店

店舗ごとの販売実績や天気予報などのデータを基に、日々の商品発注数を自動で算出するシステムを導入。無駄の少ない仕入れを実現しました。さらに値引き販売のシールは赤色ではなくあえて緑色にし、「食品ロスの削減にご協力お願いします」と印字。お客様にしっかりとメッセージを伝え、共に取組を進めることで、ここ数年の食品廃棄率は驚きの0.4%\*に。また、アルミ付き紙パックなどの幅広い品目の店頭回収を実施。「環境への取組がお客様の信頼につながり、来店動機にもなっている」と実感されているそうです。



※ 2025年8月度既存店平均値

## 2 生ごみ対策

### ✓ CHECK POINT!

- 1.生ごみの「水キリ」の徹底、乾燥などによる減量
- 2.生ごみの分別・リサイクル（飼料化、堆肥化など）○

○ 一歩進んだ取組    ⊙ 先進的な取組

- 3.事業所由来の生ごみ堆肥等を利用した農作物・食品等の販売（食品リサイクルループの構築）⊙

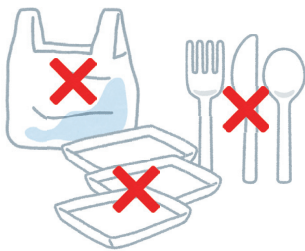
## 3 プラスチック削減対策

### ✓ CHECK POINT!

- 1.使い捨てプラスチックの削減目標の設定 ⊙
- 2.レジ袋・特定レジ袋<sup>※</sup>の徹底した削減
  - ①レジ袋・特定レジ袋の廃止（紙袋への移行など）⊙
  - ②レジ袋・特定レジ袋の要否・枚数の確認
  - ③特定レジ袋への移行
  - ④レジ袋・特定レジ袋の有料化

※ バイオマス素材25%以上配合のものなど

- 3.使い捨てカトラリー類の削減
  - ①使い捨てカトラリー類の有料化 ⊙
  - ②使い捨てカトラリー類の素材変更（間伐材、紙素材など）○
  - ③使い捨てカトラリー類の要否確認



○ 一歩進んだ取組    ⊙ 先進的な取組

- 4.容器包装類の削減
  - ①量り売り・ばら売り・はだか売りコーナーの設置 ○
  - ②ノントレイ包装やプラスチックのふたの削減（ラップ包装）などの取組 ○
  - ③サッカー台等のポリ袋の削減（適量使用を呼び掛ける表示など）
  - ④容器類の素材変更（バイオマスプラスチックや紙など）
  - ⑤詰め替え用商品や簡易包装商品への特典の設定（ポイント付与など）○
  - ⑥マイ容器への量り売り販売 ⊙
  - ⑦リユース容器の導入と、その回収・再使用 ⊙

- 5.マイボトルの利用促進
  - ①マイボトルへの飲料提供（ウォーターサーバーの設置含む）○
  - ②マイボトル利用者への特典の設定（ポイント付与など）⊙
  - ③マイボトル売場での給水スポットマップ等の紹介 ○

詳細はこちら  
 こごみネット『京都市給水スポットマップ』



## 👍 プラの「ふた」を最小限に。刺身の「つま」にも一工夫

● アルプラザ醍醐

刺身の販売で使われるプラスチック容器には本体とふたがあり、見栄えがよい代わりに、プラごみ増加の一因になっています。アルプラザ醍醐では、一部鮮魚のはだか売りに取り組んでいるほか、プラスチック製のふたの使用は最小限に抑え、可能な限り発泡トレイとラップで包装しています。また、食品ロスを削減するため、刺身のパックに入れる「つま」は最小限にしつつ、別売りで用意。使い捨てプラスチックと食品ロスの両方の削減を進めています。



## 👍 組合員参加型で進めるプラ削減

● 京都生活協同組合

プラスチック削減を目指し、2025年4月にレジ袋の販売を終了しました。事前に組合員へ呼び掛け、使っていないマイバッグや紙袋の寄付を募り、レンタルのマイバッグや店舗で出る段ボールも用意して、マイバッグを忘れた利用者に提供。当初は戸惑いの声もありましたが、組合員を巻き込み、丁寧に説明を重ねることで理解が広がり、今では「生協らしい取組ですね」と好意的な声が寄せられるように。マイバッグ持参率も今や100%に迫っています。さらに、要望の多かった透明プラスチック容器の回収を一部店舗で開始すると、「待ってました!」との声が続々。回収した容器は店舗で使う透明エコトレイに再生していることをしっかりPR。利用者が資源循環を実感できるよう、工夫しています。



## 👍 野菜のはだか売りでプラスチック削減

● イオンスタイル京都五条

青果売場に「はだか売り」コーナーを設置し、一部の野菜を袋に入れずそのまま販売。袋詰めや陳列の手間が省けるうえ、売れ行きも好調。新鮮な状態で並べられるのも魅力です。環境面では、利用客が家庭から排出するプラごみが減り、必要な分だけ購入できるため食品ロスの削減も期待できます。



## 👍 客にとっても、店にとっても「ゼロ・ウェイスト」

● 斗々屋京都本店

「ゼロ・ウェイスト」(ごみゼロ)をコンセプトに、ほとんどの商品を量り売りで提供するスーパーマーケット。はかりメーカーと共同で開発したデジタルシステムを導入し、利用客がセルフで計量できる仕組み。実質無料で使えるデポジット容器を豊富に揃え、手ぶらで気軽に買い物が可能です。バックヤードでも徹底してごみを出さない工夫をしているため、廃棄物の処理費用はほんのわずか。さらに食料品はカフェでの提供や瓶詰めに加工して売り切ることによって、食品ロスもほとんどゼロ。ごみを出さずに気持ちよく買い物できる仕組みが、多くの人に支持されています。



## 4 環境配慮の呼び掛け

### ☑ CHECK POINT! ○ 一歩進んだ取組

- 1.ごみの少ない買い物行動・商品選択などの呼び掛け (店内放送やポスター掲示など)
- 2.ごみの少ない商品・環境配慮商品の販売コーナーの設置 ○
- 3.適正な分別・排出に関する売場表示 (商品売場での充電式家電製品の適正排出に関する啓発、回収場所の案内など) ○





## 店内POPでリチウムイオン電池入りの商品を分かりやすく

● イオンスタイル京都五条

火災の原因となるリチウムイオン電池の適正な分別・排出を呼び掛ける掲示を充電式小型家電の売場で実施。

また、自店で発生する生ごみは分別し、全て飼料化しているほか、店舗があるモール内では利用客の不要な衣料品や雑貨・おもちゃなどを回収するボックスを設置。資源循環に向けた取組を幅広く進めています。



## 5 資源循環の推進



### CHECK POINT!

○ 一步進んだ取組    ⊙ 先進的な取組



1. 店頭回収の実施 (ペットボトル、食品トレイ、電池類など)



2. 不用品の下取り・リサイクルなどの実施



3. リサイクル素材を使った商品の積極的な販売



4. リユース品・リメイク品の販売 ○



5. 修理の実施・推進



6. フードドライブの実施 ○



7. 店頭で回収した資源物を使った商品の販売 (牛乳パック由来のトイレトーパーなど) ⊙



## 日常の買い物で体感する、資源循環の場

● 無印良品 山科店

自社製のプラスチック収納や衣料品、食器、化粧水ボトルなど、多様な商品と包装資材・容器を店頭で回収し、再生して再び店頭で並べる仕組みができています。「資源として役立つのが嬉しい」「使わなくなった物を出せて助かる」と利用客からも好評。中でも注目は衣料品の染め直し。回収した衣料品の状態の良さから、伝統的な染め直しの文化・知恵を現代に生かす取組として始まりました。染め直された服には独特の風合いが生まれ、新たな魅力を放っています。無印良品では資源循環の取組を「ReMUJI」と名付け、藍色を基調に統一。買い物を通して自然と資源循環が実感できる場になっています。また、店内には給水機が設置され、マイボトルの利用が可能。無料の給水スポットとして喜ばれています。



## 資源の店頭回収が来店動機に。来店頻度の向上にも◎

● スギ薬局

資源循環や環境負荷低減に向け、洗浄済みのペットボトルを店頭で回収し、再びペットボトルに水平リサイクルする取組をスタート。回収機に投入した本数に応じてポイントが付与される仕組みで、利用客からは好評。店舗としても「回収が来店のかっけになっている」との実感があり、実際に回収機を利用する方の来店頻度は、利用しない方の約2倍にのびります。予想以上の反響の中、店舗運営への影響を最小限に抑え、無理なく継続できるよう工夫しながら、取組が進められています。



## 京都市環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3946 FAX 075-213-0453 メール gomigenryo@city.kyoto.lg.jp

● 本概要版は、ホームページからもダウンロードできます。(本冊も掲載!)

ごみ減量&資源循環のための指針・事例集

🔍 検索



発行：令和8年3月 京都市環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課 京都市印刷物 第072194号

この印刷物が不要になれば「雑がみ」としてリサイクルへ

